



新しい環境の中で

副園長 米澤 千秋

爽やかな風が吹く季節となりました。緊急事態宣言に伴い、外出自粛が約1か月半続き、ご苦労の多い毎日を送っていらしたことと思います。臨時休園期間中、保護者の皆様には様々なご協力をいただきまして、ありがとうございました。幼稚園は当面の間、分散登園となりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、既にお知らせしているところですが、5月より、こども園化に向けた改築工事が始まりました。残念ながら園庭で遊ぶことができなくなり、新しい環境の中で、保育・教育を展開していくこととなります。

園庭が使用できなくなることを見通し、平成30年度・令和元年度の2年間、「体を動かして遊ぶことを楽しむ子どもの育成 ～室内での運動遊びの工夫～」をテーマに、園内研究を進めてまいりました。子どもたちの遊びの様子や活動量、経験している動きの種類などを記録したり、保育者の援助について考察したりすることを通して、次のようなことが分かりました。保育者の援助や環境構成によって、室内でも戸外の遊びと同じくらいの運動量を確保できること。また、子どもが自然に遊びたくなる環境を整え、遊びを充実させていくことが、子どもの身体活動にとって重要であることなどです。例えば、運動遊びをする際、待ち時間になるべく無いようにルールを工夫したり、遊具を十分な数設定したりすることで、幼児が楽しみながら進んで運動遊びに取り組むことができ、運動量も確保されます。また、様々な遊具を遊びに取り入れることで、いろいろな体の動きを引き出すことができます。そのために、室内で使用する運動遊具を計画的に購入し、環境を整えてきました。詳しくは、研究冊子を玄関に掲示しますので、ご覧ください。

今後は、室内での運動遊びの充実を図ると共に、柳町児童館の屋上をお借りし、運動遊びはもちろんのこと、陽射しや風を感じたり、開放感を味わったりできるようにしていきます。

工事につきましては、保護者の皆様も、ご心配なことがあるかと思えます。私たちも、子どもたちの様子を注視し、子どもたちが健やかに過ごせる安心・安全な新しい環境を整えていけるよう努めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。